

西宮市週休2日工事の導入に係る事務取扱試行要領

1 目的

この要領は、建設業の働き方改革を推進する観点から週休2日の取得に要する費用の計上等を現場閉所の達成状況に応じて行うことで、建設業の週休2日制度の導入に向けて取り組むものである。

2 対象工事

原則として、西宮市が発注する予定価格1,000万円以上の建設工事（以下「工事」という。）を対象とする。

<対象外工事>

「西宮市工事成績評定及び通知公表要領」において工事成績評定の対象外となる工事、単価契約による工事、工期から現場着手（現場測量等）前、年末年始期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間及び現場終了後等の期間を除いた期間（以下「対象期間」という。）が30日未満の工事、点検・清掃・除草等の作業及び災害に伴う緊急または応急工事。

また、災害復旧工事や終日規制工事などで、特に早期復旧、早期供用を必要とし、週休2日が困難な工事は、この要領の対象から外することができる。

3 実施方法

- ・入札段階（特記仕様書）で、週休2日制度の対象であることを明記する。（別紙1参照）
- ・受注者は契約後、対象期間において週に2日（4週8休）の現場閉所（以下「現場閉所」という。）とする週休2日を反映した施工計画書を提出する。ただし、現場の特性により現場閉所が困難な場合は、可能な範囲で現場閉所を考慮した施工計画書を提出する。
- ・発注者は適切な工期設定を行うとともに、受注者の工程管理に支障をきたさないように、ワンデーレスポンスに努める。なお、4週8休に満たない施工計画書が提出された場合は工期及び経費の契約変更を行う。

4 発注方式

次のいずれかによる方式のうち、受注者希望方式を基本とする。

（1）受注者希望方式

受注者が、現場着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組む方式
特記仕様書において、受注者が現場着手前に発注者に対して週休2日の取り組みについて協議することを明記するとともに、4週8休を前提とした工期により予定価格を作成するものとする。

なお、現場閉所の達成状況を確認後、週休2日の達成状況に応じた補正係数（要領5参照）を乗じたうえで増額変更するものとする。

（2）発注者指定方式

発注者が、4週8休に取り組むことを指定する方式

特記仕様書において、4週8休に取り組む旨を明記するとともに、4週8休以上の達成を前提とした補正係数（要領5参照）を乗じたうえで予定価格を作成するものとする。

なお、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たないものは補正分を減額変更する。

5 積算方法等

【土木工事の場合】

現場閉所の達成状況に応じて、諸経費体系別に補正係数を乗じる。

経費の補正については、「西宮市土木工事週休2日工事の経費補正における積算要領」により計上する。

【建築工事の場合】

現場閉所の状況に応じた補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正する。

単価の補正方法等については、「西宮市建築工事における週休2日工事の実施に係る積算方法等の運用」により行う。

6 工事成績評定

週休2日制度を導入した工事では、工事成績評定を次のとおりに取り扱う。

(1) 工程管理

現場閉所の達成状況が4週6休（発注者指定方式は4週8休）に未達の場合は、考査項目別運用表の次の評定項目を「×」にする。

ただし、現場の特性により現場閉所が困難な場合を考慮した施工計画書が提出された工事を除く。

- ・主任監督員評定2. II. 2.休日の確保を行っている。
- ・総括監督員評定2. II. 7.代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が行われている。

(2) 創意工夫

現場閉所の達成状況に応じて、1～2点の加点を行う。

- ・4週6休を達成した場合は、施工管理関係 23.その他に「週休2日工事現場閉所率〇〇%」と記載する。
- ・4週8休を達成した場合は、その他 41.その他に「週休2日工事（4週8休）現場閉所率〇〇%」と記載する。

7 確認方法等

- ・工事現場の現場閉所は、受注者が提出する週休2日工事实績表を工事履行報告書や建退協就労実績報告書明細等により確認する。
- ・閉所日に現場作業をしていなければ、現場閉所としてカウントする。なお、降雨、降雪等による予定外の閉所日についても含めるものとする。

8 工事看板

週休2日制度対象工事の受注者は、施工計画書で提出した週休2日の内容を工事現場に掲出することとする。

附 則

この要領は、令和3年3月1日から適用する。

特記仕様書の記載例

(1)受注者希望方式

本工事は、原則週休2日を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の受注者希望方式の対象工事である。

建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行い、「週休2日制度」を工事看板に明記すること。

受注者は、現場着手前に週休2日の取得計画が確認できる「現場閉所計画」を記載した「週休2日工事実績表」等を作成し、監督員の確認を得た上で、週休2日に取り組むものとする。なお、受注者が週休2日を希望しない場合は、週休2日工事の導入に係る事務取扱試行要領の対象外とする。

天候や地域住民対応等で土曜・日曜の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得する等、週休2日に努めること。

現場稼働中の期間〔現場着手（現場測量等）前、年末年始期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間、現場終了後等の期間を除く〕における週に2日の現場閉所（以下「現場閉所」という。）の達成状況に応じて下記の表のとおり、労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正を行い、契約変更する。

(2)発注者指定方式

本工事は、原則週休2日を確実に取得できるよう工事を実施する「週休2日制度」の発注者指定方式の対象工事である。

建設業へ入職しやすい環境整備のため、週休2日が確実に確保できるよう受発注者間で工程を調整し、施工計画を作成するなどの取り組みを行い、「週休2日制度」を工事看板に明記すること。

受注者は、現場着手前に週休2日の取得計画が確認できる「現場閉所計画」を記載した「週休2日工事実績表」等を作成し、監督員の確認を得た上で、週休2日に取り組むものとする。

天候や地域住民対応等で土曜・日曜の施工が必要となった場合は、監督員と協議のうえ、振替休日を取得する等、週休2日に努めること。

現場稼働中の期間〔現場着手（現場測量等）前、年末年始期間、夏季休暇期間、一時中止期間、工場製作期間、現場終了後等の期間を除く〕における週に2日の現場閉所（以下「現場閉所」という。）を4週8休以上の達成を前提として下記の表の補正係数を乗じたうえで予定価格を作成している。

なお、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たないものは補正分を減額変更する（4週6休以上4週8休未満であっても補正を適用しない。）。

(3)＜労務費、機械経費、共通仮設費率、現場管理費率の補正＞

補正係数	現場閉所の達成状況		
	4週8休以上	4週7休以上 4週8休未満	4週6休以上 4週7休未満
労務費	※発注工事の諸経費体系に応じて 添付する表を選定すること。		
機械経費（賃料）			
共通仮設費率			
現場管理費率			